プログラム・キーワード　12 サークル

	部署名	サークル名	テーマ	結果
★ 課題達成型・問題解決型 QC ストーリー				
1	中央 5 病棟	推し活部	介護グローブ「するりん」で楽ちん！	
2	中央 4 病棟	宮本新喜劇	予定入院の患者さんを迅速に病棟へお連れしたいじゃあ～りませんか	最優秀賞（全国大会）
3	中央 3 病棟	グリーンアップル	夜勤明け、定刻で帰ろう！！	
4	地域医療連携室	上がり框	時短への取り組み～電話対応時間の短縮に向けて～	優秀賞
5	透析室	キドニーズ QC サークル	医療材料費削減の動きと成果	
6	外来	電話どうにかし隊	電話対応の負担を減らそう	
7	栄養課	ひまわりの会	Let's 業務改善～現場の作業効率をあげよう～	優秀賞
8	南 1・南 2 病棟	Minami's	手指消毒剤使用量アップを目指して	
9	北 1 病棟	電話対応向上委員会	電話対応への苦手意識をなくそう	
10	放射線室	X-ray QC サークル	診断用 X 線防護衣管理の徹底	
11	北 3 病棟	ノーススリー	手指衛生サーベイランスの向上～コロナウイルス・インフルエンザウイルスのクラスター予防～	
12	北 2 病棟	見直し Angels☆北 2	SST の苦手を無くそう！！～その 1：患者様編～	

令和 6 年 1 月 30 日

BSC：業務プロセスの視点：QC の推進

「業務改善活動の活発化(部門横断的活動と全国大会発表)」

第 15 回 QC 活動発表会・投票結果及び、アンケート調査の分析報告

QC 担当　放射線室技師長　浜崎孝一

＊　投票結果について

当日参加　79 名　抄録参加者　172 名　有効投票数　251　無効投票数　0

第 15 回 QC サークル活動発表会　投票結果

演題No	部署名	サークル名	テーマ	投票数	
2	中央 4 病棟	宮本新喜劇	予定入院の患者さんを 迅速に病棟へお連れしたい じゃあ～りませんか	125.9	最優秀賞
7	栄養課	ひまわりの会	Let's 業務改善 ～現場の作業効率を あげよう～	123.8	優秀賞
4	地域医療連携室	上がり框	時短への取り組み ～電話対応時間の 短縮に向けて～	123.7	優秀賞

以下省略　　〃　　〃　　〃　　〃

開票日：令和 5 年 12 月 26 日(火)　開票及び担当者名　：　塚本、小泉、海老原、正慶、高塚、浜崎

結果、上記のごとく、「中央 4 病棟」が最優秀賞。

＊アンケート結果について

1. 参加者の声は、15 件。貴重なご意見ありがとうございました。
たくさんのご意見の中からいくつか取り上げたいと思います。

① 各部署課題に対していろんな策を考え実践の振り返りが感じられました。
取り入れられるものはどんどん取り入れられればと思いました。
　QC 活動は課題、問題を各部署で取り上げそれに対しての取組みを実施する活動です。いろんな意見を出し行動することが重要です。QC 活動発表会で発表していただき他部署でも取り入れられるものはどんどん取り入れ役立ててもらえればと思います。

② 1 演題あたりの時間を決めて決められた時間枠の中で発表、質疑が終えられるようなスムーズな進行を望みます。
　今回は 1 演題につき発表時間 8 分、質疑応答 3 分で行わせていただきました。全国大会では発表時間が 11 分なのでなるべくそれに近い内容で実施しました。進行につきましては今後の課題とさせていただきます。

③ やっている部署とやっていない部署の差が開きすぎている。薬局と事務に

参加してもらいたい。

今回でQC活動発表会は15回目となります。その間、継続して活動していた部署とそうでない部署との間にはQC活動に対しての意識や視点、取り組む内容、スライドのまとめ方などに差が出てくるのは仕方がないことだと思われます。自部署のQC活動内容を年1回発表出来る場でありますので多くの部署に参加していただければと思います。

④ 抄録集を見る限り成功例ばかりであり失敗例がない。全部が成功するとは限らず失敗例も発表して皆で対策を考えた方が良いと思う。

各部署で問題・課題があり、QC活動をしてもうまくいかなかったり抜本的な解決にならないこともあると思います。そのような内容も発表していただければ病院全体で考える良い機会になると考えます。

＊まとめ

今回のQC発表は、各部署の活動で、総演題数が12となりました。今回は各演題、発表8分・質疑応答3分で11分の持ち時間でした。各演題に関して、職員から活発な質疑やご意見をいただきました。

質疑応答の時間があっという間に過ぎたことは大変喜ばしい限りであります。

新型コロナウィルス感染症の影響もあり、3大会ぶりのQC活動発表会となりました。

開催するにあたり不安などもありましたが皆様のご協力もあり今回もQC活動発表会は予定時間内に終えることが出来ました。

次回も予定時間内にQC活動発表会を終える事が出来るようにしたいと思います。

発表内容や表現方法につきましては、QC手法を用いて出来るだけ分かりやすいスライドを作成していただいたことと、全体的な文字の大きさや色使いの工夫でさらに理解しやすくなっていたかなと思いました。ただ、アニメーションなどを使用している部署はほとんどなかったので、次回発表する部署はこの点に関して検討していただいても良いかと思います。

結果では、優勝、2位のポイント差が約2Pでした。今回のQC活動発表会も稀に見る接戦でした。そんな中、中央4病棟が最優秀賞を受賞しました。

予定入院の患者さんを迅速に病棟へお連れしたいじゃあ～りませんかに関しての取り組みは、新病院建設にあたり、中央病棟へ入院患者様を移動する時間がかなりかかっていることから時間短縮と患者様本人とそのご家族様、職員の負担軽減をQC活動として取り上げました。

上記内容を一連のQC手法を使用して理解しやすくしたこと、グラフや表を用いたことで、さらに理解しやすい内容にしたことが今回の成果に繋がったの

ではないかと思います。

アンケートでは、今回の発表会の内容について「実りあるものであった」が55.0%→74.3%(過去最高値)、発表会の視聴については「充分視聴出来た」が51.9%→64.9%(過去最高値)となりました。「何も得るものは無かった」が第12回QCサークル活動発表会に引き続き0%(0件)となりました。QCサークル活動の実践について「やりたくない」が6.3%(11件)→5.2%(11件)と件数は変わりませんが割合では減少となりました。

→今後の課題として検討

最後に、忙しい日常業務の中、時間を割いて各部署でQC手法を用いてQC発表に向け準備して下さった職員の皆様、ありがとうございました。今回、12演題あり数大会ぶりに演題数が10を越えとても喜ばしいことでありました。各部署でたくさんのテーマがある中で様々な角度から物事を捉え、優先順位をつけて活動して下さったのではないかと思います。QC活動を行った各部署は、日々の仕事を円滑に進められ、意欲的に取り組めるようになっていると思います。QC活動に取り組むことは、自己の成長に繋がることは勿論でありますが、今後に活かせることは言うまでもありません。また、このQC活動発表会を開催することで、他部署のQC発表の良い箇所を見習って日常業務に取り入れてもらえれば、病院全体の医療の質の底上げにも繋がります。今回、発表しなかった部署また出来なかった部署は次回のQC活動発表会で改善に取り組んだ内容をQC手法でまとめて発表して下さることを期待します。

QC活動発表会は今後も継続していきますので、院長やQCメンバーを始め、皆様のご協力をよろしくお願いします。

※最優秀賞はQC全国大会(令和6年11月15日～11月16日予定)で発表していただくこととなっております。詳細が決まり次第お知らせしますので担当者の方はよろしくお願いします。

中央４病棟　宮本新喜劇　最優秀賞おめでとうございます!!